

## むなかた子どもの権利相談室「ハッピークローバー」に関する

### アンケート調査結果

#### 1. 調査の目的

本調査は、むなかた子どもの権利相談室の各種事業に対する子どもの意見を聴き、本市の子どもの権利保障の充実を図る一助とすることを目的としています

#### 2. 調査対象・回収率

市立小学5年生： 857 / 950 人(回収率90.2%)

市立中学2年生： 856 / 961 人(回収率89.1%)

総数： 1,713 / 1,911 人(回収率89.6%)

#### 3. 調査方法

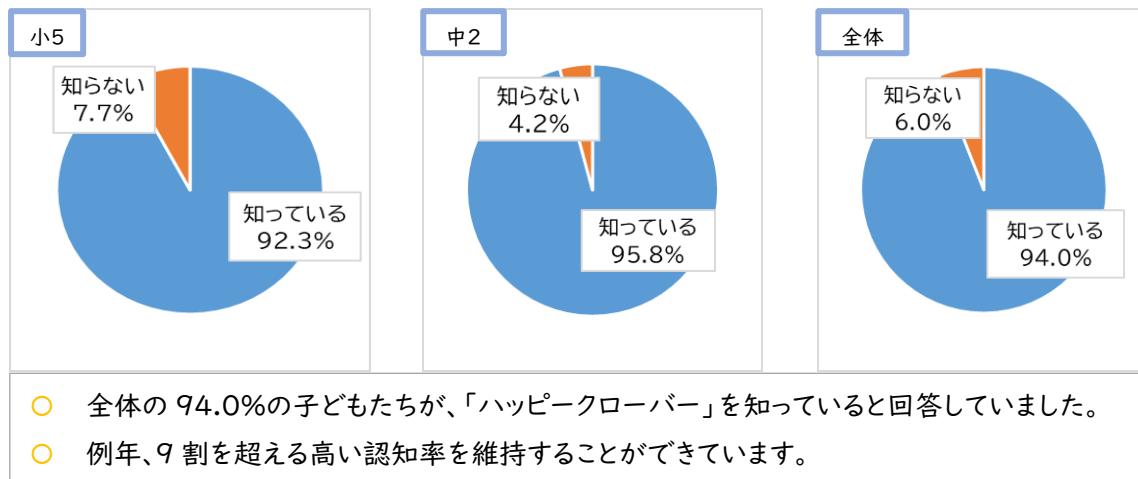
各学校へ協力を依頼。各児童生徒タブレットにて実施

#### 4. 調査期間

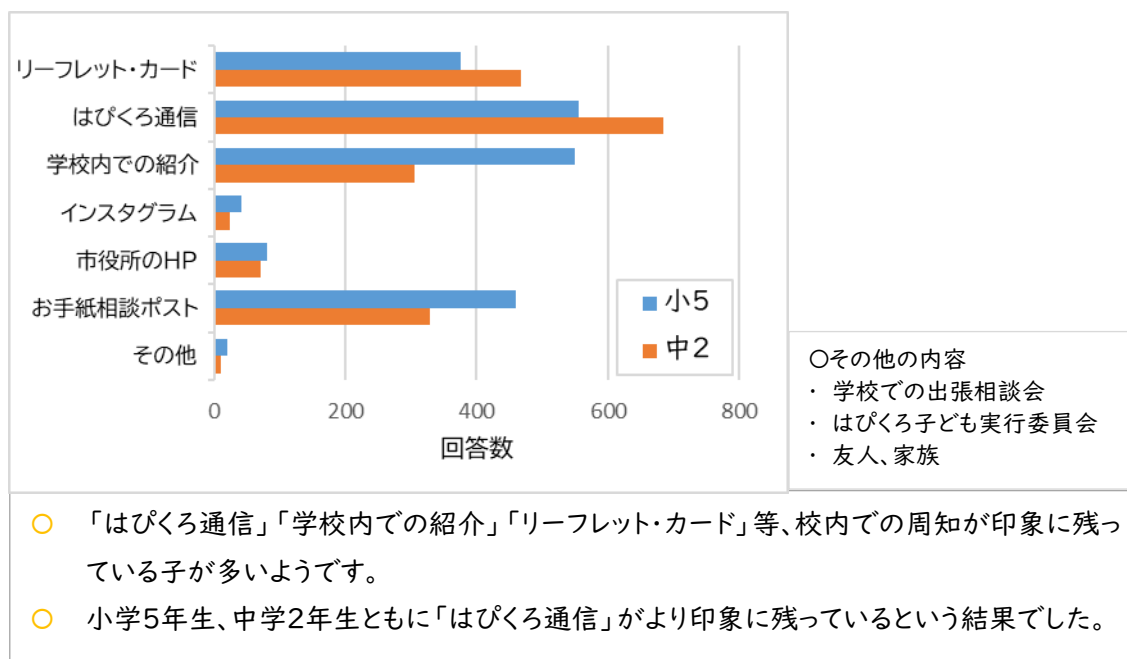
令和7年12月1日～令和7年12月24日

## 5. 調査結果（全7項目）

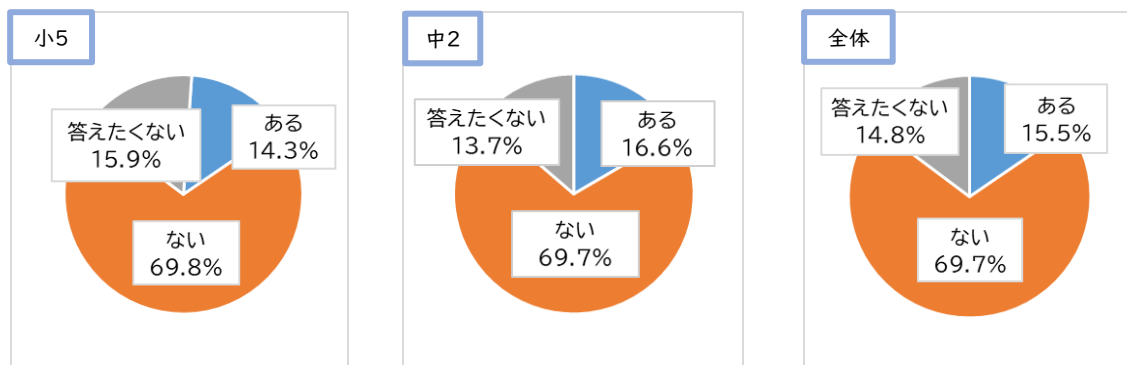
### ① むなかた子どもの権利相談室「ハッピークローバー」を知っていますか？



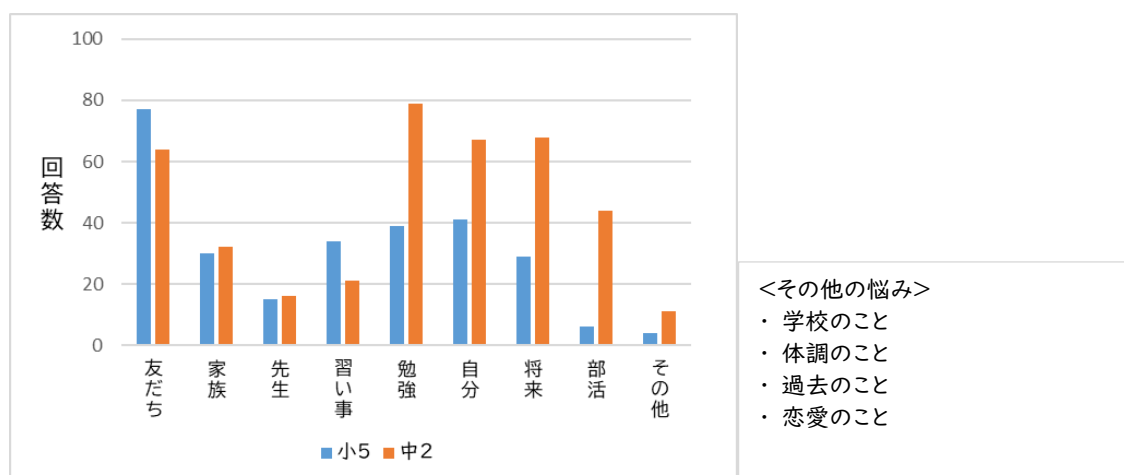
### ② 「ハッピークローバー」の紹介で、見たこと、聞いたことがあるものにチェックをつけてください（複数回答可）。



③ あなたは今、悩んだり、困ったりしていることがありますか？



※ 「ある」と答えた人へ、どんなことで悩んだり、困ったりしていますか？（複数回答可）

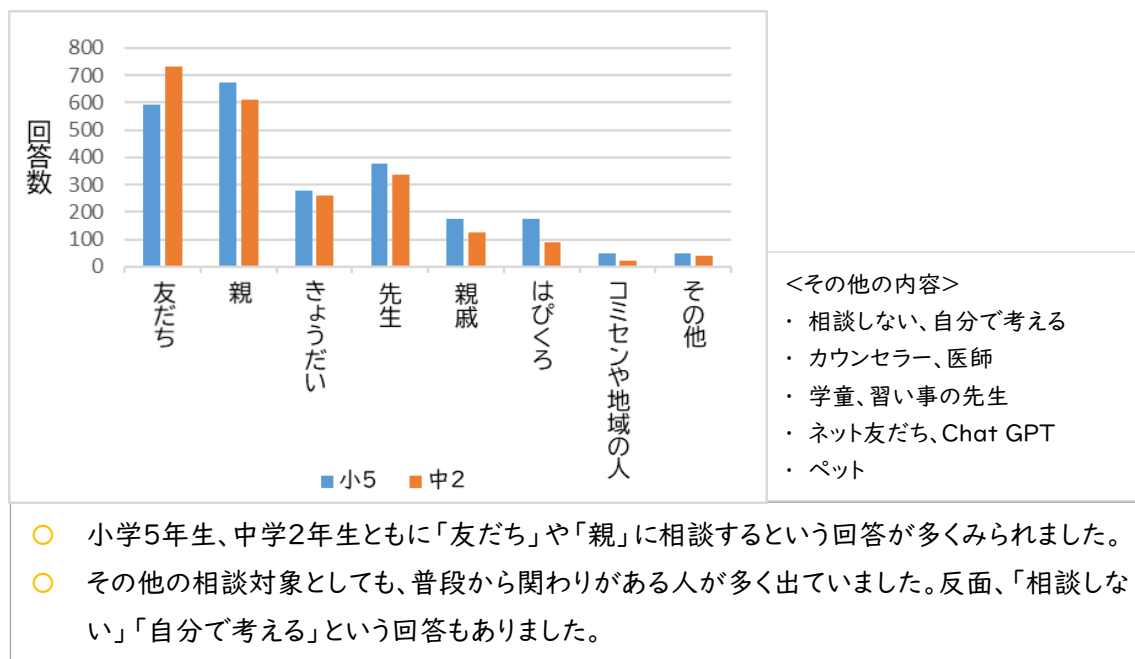


- 全体の 15.5% の子どもたちが、今悩みや困っていることがあると回答していました。
- 内容として、小学5年生は「友だち」についての悩みが多いのに対し、中学2年生は「勉強」「将来」「自分」「友だち」についての悩みが多くなっていました。

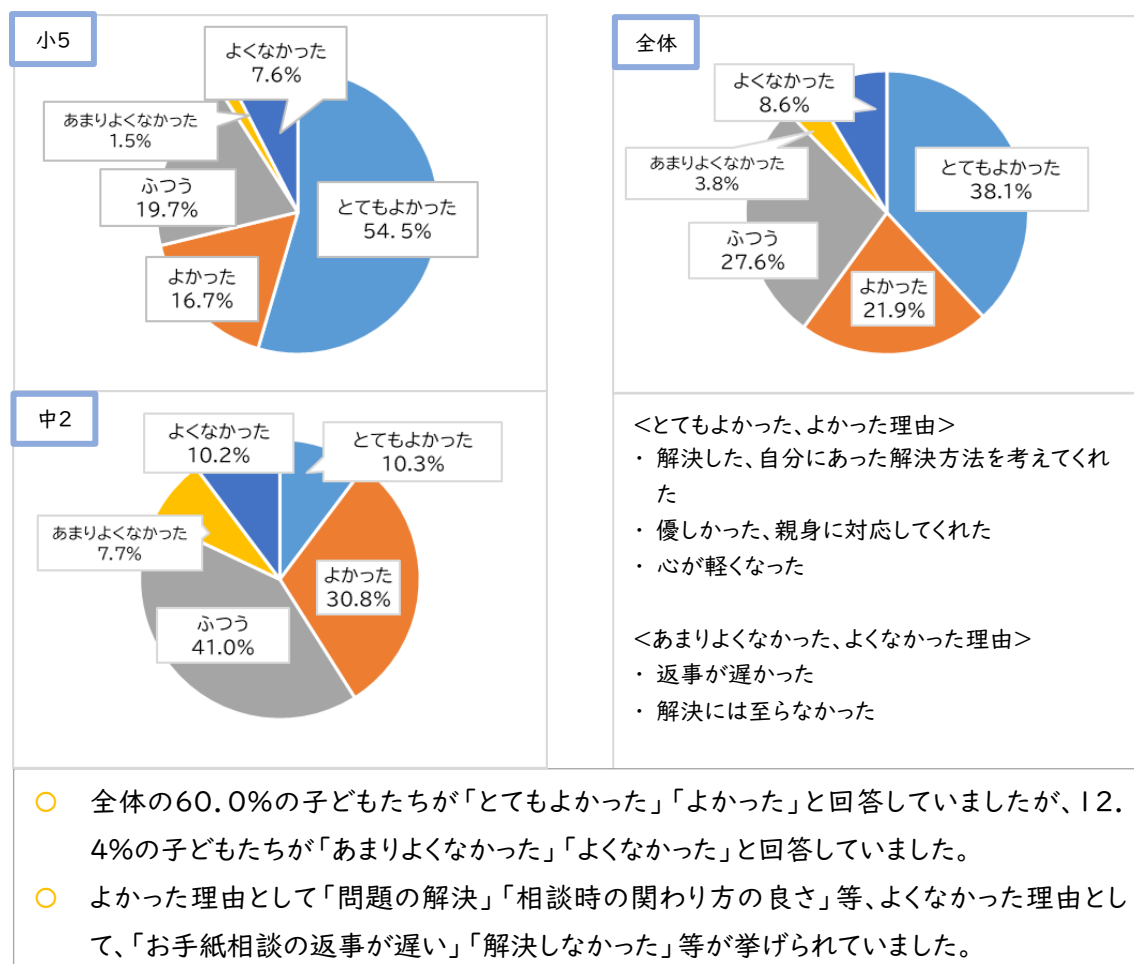
※ 「ない」と答えた人へ、悩んだり困ったりした時、それをどうやって乗り越えましたか？  
（自由記述）

- ・ まわりの人（友だち、家族、先生、はぴくろ、専門機関等）に相談した
- ・ 解決できるように考えて動いた（学校のアンケートに書いた、相手に気持ちを伝えたなど）
- ・ 本を読んだり、ゲームをしたり、好きなものを食べたりして、気を紛らわせた
- ・ 時間が経つにつれ、気持ちが変わった、忘れた
- ・ 気合いや我慢で乗り越えた
- ・ ゆっくり寝て身体を整えた
- ・ 経験だと思ってポジティブに受け入れた
- ・ 嫌なこと、人と距離を置いた
- ・ 気持ちを整理した、切り替えた
- ・ 友だちと遊んだ
- ・ 音楽を聴いた
- ・ 深呼吸した
- ・ 自分を褒めた
- ・ 不幸なときよりも幸せなときの方が多いことを頭の片隅に置くようにした

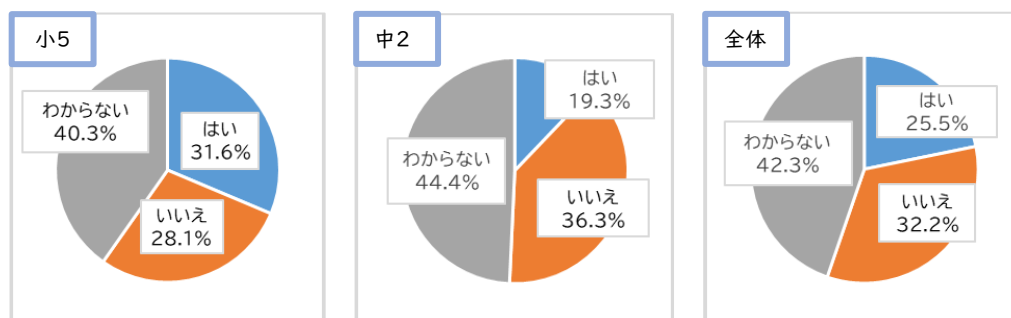
④ あなたは悩んだり、困ったりしているとき、だれに相談しますか？（複数回答可）



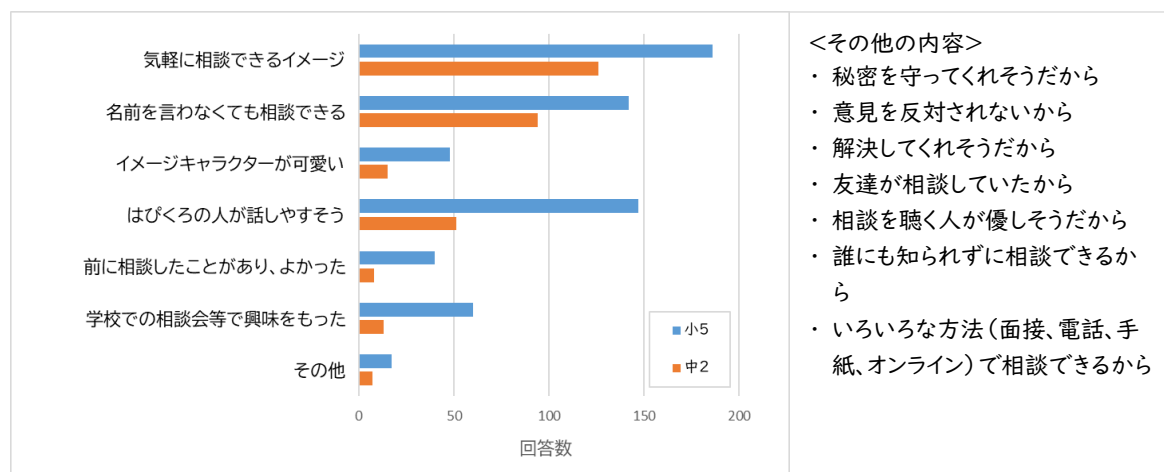
⑤ これまでに、「ハッピークローバー」へ相談したことがある人にお聞きます。相談してみてどうでしたか？



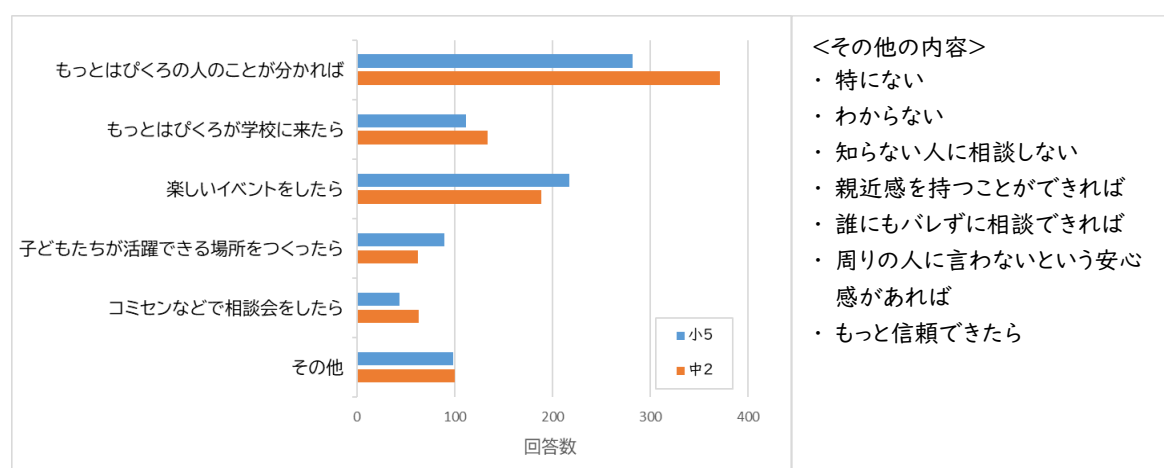
⑥ これから先、あなたが悩んだり、困ったりしたとき、「ハッピークローバー」に相談してみようと思いますか？



※ 「はい」と答えた人へ、「相談してみようかな」と思ってくれた理由や、きっかけがあれば、教えてください。



※ 「いいえ」と答えた人へ、「ハッピークローバー」がどうなれば、または、「ハッピークローバー」にながければ、「ハッピークローバー」に相談してみようと思いますか？



- 全体の25.5%の子どもたちが、悩みがある時は、「ハッピークローバー」に相談してみようと思うと回答していました。
- 「もっとはぴくろの人のことが分かれば」「楽しいイベントをしたら」はぴくろへの相談につながるという回答が多くありました。また、その他の内容としては「特にない」「わからない」「知らない人に相談しない」が回答の多数でした。

- ⑦ 「宗像市子ども基本条例」では、みなさんには生まれた時から、「4つの子どもの権利」があるとされています。この子どもの権利のことを知っていますか？

※4つの権利＝「安心して生きる権利」「自分らしく生きる権利」「豊かに育つ権利」「意見を表明する権利」

